



電子黒板の活用イメージ



住田 英次 議員

本町の人口減少対策は

問 平成28年2月に作成された「松前町人口ビジョン」によると2060年の本町の目標人口は2万5千人となっている。

少しでも現状を維持し活気のある町を残していくために、現時点での本町の「人口減少対策」への取組や考えは。

また、今後の計画は。

答 升田副町長

「松前町人口ビジョン」では人口減少の克服を目指す取組の方向性として「子育て世代に住む場所として選ばれる松前町づくり」、「産業振興、産業連携による活発で活力ある松前町づくり」、「安心・安全で賑わいあふれる元気な松前町づくり」の3つを定めている。本町の人口減少対策の

取組を推進するため、この3つの方向性を基本目標とした『松前町まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定し、これに基づき平成27年度から平成31年度までの5年間に定住施策に重点を置いた63事業を実施している。

このほか、移住促進の取組として、今年度から愛媛県の『移住者住宅改修支援事業費補助金制

度』を活用し県外からの移住者の支援を行う。

また、松山圏域の5市町と連携して首都圏において移住フェアを開催し、松前町のPRを行う。今後とも、総合戦略に基づき達成状況の検証を踏まえながら、住み続けたい町作りを進める。

本町のICT（情報通信技術）活用は

問 本町では松前中学校の建て替えという大きな事業が進んでいる。この機会に「電子黒板やデジタル教科書、タブレット端末の活用」などICTを導入し、子供の学力向上や教職員の校務の負担軽減を検討しては。

答 本馬教育長

ICTの活用は、児童生徒の学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業や児童生徒の主体的・協働的な学びを実現する上で効果的で、確かな学力の育成に資するものだ。町としても、『松前町教育大綱及び松前町教育基本方針』において、

ICT機器を整備し、その活用を図ることを位置付けている。

これまで各小中学校においてデジタルテレビの導入、校務用コンピュータや超高速インターネット回線などを整備し、その活用を図ってきた。また、ICTを効果的

に活用した授業が実施できるように、教職員研修を行っていく。

今後のICT環境の整備については、多くのコストがかかるため、活用できる国の補助事業の調査などを行い、計画的かつ効果的に進めていきたい。